

2015 年度 特別支援教育フォーラム

2015 年 10 月 28 日
和歌山大学特別支援教育
コーディネーターフォーラム事務局
Info-seforum@center.wakayama-u.ac.jp

第 62 回コーディネーターフォーラムを開催

10 月 28 日（水）夜に、第 62 回和歌山大学特別支援教育コーディネーターフォーラムが、和歌山大学会場、田辺会場、きのかわ会場の 3 会場をテレビ中継で結び開催されました。

今回は、和歌山大学 山崎先生、株式会社あみだ食品代表取締役 松本なお氏が講演してくださいました。お忙しい中 51 名の方が、ご出席下さり、各会場と活発な意見交換がされました。

講演 テーマ

『働く人に合わせた仕事づくりと利益向上
の両立—働くことを通した自信の回復へ—』

講 師：株式会社あみだ食品代表取締役・スクールカウンセラー 松本 なお氏

株式会社あみだ食品は、仏壇に供えるフリーズドライの精進料理「ご先祖様」と葬儀の際に使用する冷凍団子「みほとけさま」を製造する会社である。

起業当時、「ご先祖様」の生産作業の委託に苦慮していたところ、福祉作業所さんから「委託先として考えてほしい」とお話があり取引を開始した。「ご先祖様」の製造工程は、多種類の手作業がある。さまざまな作業工程は、利用者さんの作業能力に合わせる事が可能であり、利用者さんのニーズとうまくマッチした。現在、ほとんどの仕事を福祉作業所に委託している。

その後、「みほとけさま」を製造することが決まり、製造工程が福祉作業所の仕事に適切だと考えた。福祉作業所で行っているさまざまな工夫をご指導いただき、福祉作業所から、週 2 回「施設外就労」という形で利用者を受け入れ製造を始めた。その後、引きこもりサポートセンターからも青年を受け入れ、週 1 回 5 時間労働で 1 日約 500 キロの団子を製造し、時給 750 円（但し外注費としての支払い金額）を支払っている。

あみだ食品は、その人に合わせた作業や得意な作業をしてもらうこと、わかりやすい作業工程の掲示、環境整備などさまざまな工夫をした。また、その日の気分で休むことを考慮し、必要人数より 2、3 人多く採用し、作業がスムーズにできるようにした。その結果、利用者さんは、継続就労ができるようになり、作業能力も上達し、自己効力感が高まった。特に、機械を導入し生産量が増加した頃からは目を見張るような成長を示した。このように、「障害者の仕事はこれ」と決めつけるのではなく、その人に合った仕事をしていただくことで思った以上の力を発揮できることがわかった。

障害者を雇用するには、様々な工夫を行い、そのうえ作業がスムーズにできるまで多くの時間を要す

る。利益を出さなくてはならない企業にとって、障害者の雇用は難しい。しかし、障害者を理解し、寄り添う気持ちを持てば、弊社のように利益を得る経営が可能である。

講演題目： 「誰も排除されない・インクルーシブな就労保障を」

講師： 和歌山大学教育学部 **教授** 山崎由可里

日本の雇用は、リストラや非正規労働者雇用の拡大で利益を上げる企業があり、労働者は就職難や給与カット、過労死という現実がある。松本さんの取り組みは、「自分だけが得をするのではなく、みんなの利益・幸福を両立させたい」という強い志しを持ち、試行錯誤しながら自ら起業されている。松本さんが行っている、さまざまな支援は「中間的就労」という発想である。

障害のある人や引きこもりの青年たちは、働くことを通して人に認められる経験ができる。また、生活リズムの確立や給与を獲得することができる。これらの経験を重ねることで、働く喜びや意欲のはぐくみ、自信の回復につながる。

生きていく力をつけるには、学校教育ですべて形成できるわけでない。必要に応じてさまざまな支援を得つつ、自分の人生を生き抜く土台の形成をつくるには、関係機関との連携や協力が有効であると考ええる。

質疑応答

① どのくらいの期間、どのようなことを学んだか

A 作業所の人と関わるうちに、障害について学びたいと思うようになり、放送大学で心理学を中心に4年半ぐらい学んだ後、和歌山大学大学院に進み発達障害のことを学んだ。

参加者の感想より

- ・働くことはお金を稼ぐためだけでなく、人間にとっての労働の意味・意義はもっと深いものだと改めて思った。
- ・仕事を頑張った結果、お金を得られ、それで余暇を楽しむというメリハリが大切だと思う。
- ・障害者が働きやすい環境の整備と適切な支援で就労がうまくいく例を示していただき、モデルとして広がることを期待しています。
- ・障害者や引きこもりの若者に対する思いやりや配慮の工夫など、その意欲が素晴らしいと思った。その行動の結果、企業・作業所・障害者の三者が幸福になっていると感じた。
- ・働く喜びを知ったり、自分ができることを発見できたり、人の役にたっているという感覚を味わったり、このようなことを感じながら働ける職場は本当に素晴らしい。
- ・経営基盤がしっかりした会社がなければ、健常者も障害者も就労ができない。